

公表

事業所における自己評価総括表

児童発達支援

○事業所名	放課後等デイサービスセンター第2いちご園			
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		～	令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和7年1月27日		～	令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月24日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児・ご家族のニーズに添った支援	モニタリング・日々の連絡帳・送迎時のお話を大事にしている	職員間でニーズや日々の過ごしの情報共有をする
2	身体を使った活動の提供	活動の中に身体を使う活動・指先を使う活動を取り入れている	利用児の活動での様子を把握し、日々の支援に生かし、ご家族にも知らせていく
3	利用児の好きなこと・得意なことを生かす支援	利用児の様子をよく観察して支援している	支援の方法を意見を出し合いながら考え、職員間で共有していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	玄関・手洗い場・事務室等の環境整備	建物の構造上すべての改善は難しいが、利用児・職員の快適で安全な過ごしの為にできることを考えていく	危険なリスクの把握や改善できるアイデアを出し合っていく
2	事業所の取り組み(安全計画・支援プログラム等)をご家族に周知していく	事業所の取り組みを職員間で共有した上で、ご家族に知らせていく	HP/園だより・LINEを活用して情報提供していく
3	業務の改善と職員会議時間の確保・職員のスキルアップ	業務が多く、業務の効率化と時間の確保が必要	業務のシステム導入で時間を短縮し、支援の充実、研修の時間を確保していく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果 児童発達支援

事業所名	放課後等デイサービスセンター第2いちご園		公表日		令和7年3月31日		利用児童数	18	回収数	17
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17							
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16		1					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15		2					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17							
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15		2					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17							
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17							
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16		1	年間を通して様々な活動が提供されている	更に充実した活動が提供できるように職員でアイデアを出し合っています			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	3	4	特に交流がなくてもよいと思う	利用児の経験を深める為になるなら考えていきたいと思っています			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17							
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17							
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13		4					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17							
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16		1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17			親身になってくれていると感じる	利用児・保護者のニーズを把握するように努め、支援していきます			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	1	4					
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16		1						
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17								

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11			6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17				楽しみにしています	楽しく通所してもらう為に活動を考えながら提供し、利用児の成長に繋げていきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17					

公表

事業所における自己評価結果 児童発達支援

事業所名	放課後等デイサービスセンター第2いちご園		公表日		令和7年3月31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	建物の構造上改善に難しさがあるが、トイレへの促し方やカーテンの使用など環境を整えている	トイレの中に手洗い場があり、不便を感じる
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	4	利用児の状況により、部屋を分けて活動している	送迎時に職員が抜けるので体制が整わない時がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	リスクを考えて対応している 扇風機の使用や別の部屋で業務をするように対応している	段差がある為、玄関の混雑時注意が必要 事務室が狭く、壁で仕切られている為、夏は暑く、冬は寒い
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	お湯を準備して対応する	水道が水しか出ない 利用人数によっては、個別のスペースを設けることが難しい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	会議の場を有効に使い、必要時は別の時間を取って意見を出し合う	機会は持っているが、常勤のみになっていることが多い
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		なかなか環境面が改善に繋がらない
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1		令和7年3月に公表
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		回覧で共有し、朝の打ち合わせで確認している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		新しい行事を考えていく	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		個別記録、日報の記載を各自で確認する	全員では出来ない現状はある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	その日に振り返りができない時は、次の日、会議等で話す機会を持つ	振り返りの時間を持っていない時がある
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		自立支援協議会に参加している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	保育園・幼稚園との併用利用児は就学に向けて、園と情報共有を行い、事業所のみ利用児は就学先と情報共有を行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	2		基幹センターと連絡を取り合っているので、必要時は助言等を受ける機会を設けていきたい
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			ご家族からの相談に適した助言ができないことがある

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2		きょうだい同士の交流機会は設けていなかった
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	いちご祭りが開催できた	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		保護者からの聞き取りのみになっている
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2		職員全員が訓練研修を受け、緊急時の対応方法を確認する必要がある
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2		安全計画を職員全体で把握し、ご家族への周知していく
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	3		対象児はいないが、職員で研修機会を持っていく	

公表

## 事業所における自己評価総括表 放課後等デイサービス

○事業所名	放課後等デイサービスセンター第2いちご園			
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		～	令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	3
○従業者評価実施期間	令和7年1月27日		～	令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月24日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児・ご家族のニーズに添った支援	モニタリング・日々の連絡帳・送迎時のお話を大事にしている	職員間でニーズや日々の過ごしの情報共有をする
2	身体を使った活動の提供	活動の中に身体を使う活動・指先を使う活動を取り入れている	利用児の活動での様子を把握し、日々の支援に生かし、ご家族にも知らせていく
3	利用児の好きなこと・得意なことを生かす支援	利用児の様子をよく観察して支援している	支援の方法を意見を出し合いながら考え、職員間で共有していく

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	玄関・手洗い場・事務室等の環境整備	建物の構造上すべての改善は難しいが、利用児・職員の快適で安全な過ごしの為にできることを考えていく	危険なリスクの把握や改善できるアイデアを出し合っていく
2	事業所の取り組み(安全計画・支援プログラム等)をご家族に周知していく	事業所の取り組みを職員間で共有した上で、ご家族に知らせていく	HP/園だより・LINEを活用して情報提供していく
3	業務の改善と職員会議時間の確保・職員のスキルアップ	業務が多く、業務の効率化と時間の確保が必要	業務のシステム導入で時間を短縮し、支援の充実、研修の時間を確保していく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果 放課後等デイサービス

事業所名	放課後等デイサービスセンター第2いちご園		公表日		令和7年3月31日		利用児童数	5	回収数	3
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	3								
	2	3								
	3	2	1		バリアフリー化は不明 構造化はなっている	玄関の段差の改善策を考えていきます				
	4	3								
適切 な支 援の 提供	5	3								
	6	3								
	7	3								
	8	3								
	9	3								
	10	3								
11		1		2	自分の子どもにはなくてよい	利用児の状況を見ながら楽しめる様な交流の場があれば参加していきたい				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	3								
	13	3								
	14	3								
	15	3								
	16	3								
	17	3								
	18	2	1			親の会、ひまわりのたねがある きょうだいは不明だが、無くてもよい	親御さんの要望を聞きながら必要な場が 提供できるように機会を設けていきたい			
	19	3								
20	3									

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3					
	29	事業所の支援に満足していますか。	3				子どもの特性、成長を理解して接してくださり、心から感謝しています	利用児の安心して過ごせる場所、ご家族が思いが伝えやすい事業所になる様、職員一同で支援していきます

公表

事業所における自己評価結果 放課後等デイサービス

事業所名	放課後等デイサービスセンター第2いちご園				公表日	令和7年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	可能な時は、部屋を分けての活動を提供できるようにしている	幼児から小学生まで混在し、ストレスを抱えている利用児もいる トイレ・手洗い場の環境
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3	職員体制を見て、活動内容を考えている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	リスクを考えて対応している	玄関の段差・込み合った時に注意が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1		R7年3月に公表
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		様々な体験経験の為の行事を立案している	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	全体では職員会議の時間を使っている 必要時は次の日に振り返りや気づきを話す機会を設ける	全体ではできていない 時により振り返りの時間が持てないことがある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			利用対象児がいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		機会を増やしていきたい	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1		きょうだい同士での交流は行っていない
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	いちご園祭りの開催 事業所連携(ボランティア活動の受け入れ)	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	アレルギー表を作成し、事務室・食事提供の部屋に掲示している	保護者からの聞き取りのみ
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2		安全計画を詳しく知らなかった
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		周知の徹底が必要 職員が必要な措置を具体的に学んだり、確認していく必要がある
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	2		対象児がいない	

公表

## 事業所における自己評価総括表 保育所等訪問

○事業所名	放課後等デイサービスセンター第2いちご園		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和7年1月27日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5	(回答数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育園・幼稚園に比べると、小集団を充実した職員体制で支援できるので、利用児をしっかり観察し、状況を把握することができる	利用児の細かい気づきも見逃さずに共有している	気づき・改善点・困り感を踏まえて支援方法を職員で検討し、共有していく
2	障がい特性の知識があり、配慮した環境を提供できる	ひとりひとりの利用児に応じた支援を心がけている	ひとつの支援だけでなく、様々な方向性から充実した支援を提供していく
3	ご家族とモニタリング、連絡帳、送迎時を通して、様子を伝え合い、ニーズや状況を知ることができる	利用児の様子を伝え、ご家族の思いを聞き取るように心がけている	利用児・ご家族の思いを汲みながら支援をし、必要な助言や情報を提供していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員が定型発達の子どもの発達段階や保育園・幼稚園の様な大きな集団での生活を知って理解を深める必要がある	定型発達の子どもの発達段階や保育園・幼稚園の過ごしを学ぶ機会を持つ	研修や見学訪問の機会を持って学んでいく
2	大きな集団の中で可能な支援方法の知識を深めていく必要がある	いちご園で可能な支援がそのまま訪問先で出来るかを見極め、必要な支援方法を考えていく力をつけていく	職員間で振り返りや支援検討の時間を確保していく
3	利用児に必要な支援・環境・配慮を共有して、過ごしやすさや成長に繋げていく根本を忘れずに支援する	出来ることを目標にして、目を向けがちになるが、子どもの楽しさや頑張る過程も大切に見ていく	好きなことを楽しめる時間を提供し、褒められる機会を持つていく

公表

保護者からの事業所評価の集計結果 保育所等訪問

事業所名 放課後等デイサービスセンター第2いちご園

公表日 令和7年3月31日

利用児童数

6

回収数

6

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4			2		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	6					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	6					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	6					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	6					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	6					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	5			1	訪問を通して、ご家族の思いを伝え、園や先生方の考えも伝えていけるように配慮する	園や担任の先生の考えが知りたい
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	6					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	5			1		まだ回数を重ねていない為わからない
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	6					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	4	1		1		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	6					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	6					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	6					
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	5			1		まだ回数を重ねていない為わからない
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思えますか。	6					

	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	6					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5			1		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	6					
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	6				訪問がご家族の安心と利用児の成長に繋がられるように努めていきます	いちご園が大好きです
	28	事業所の支援に満足していますか。	6				更に充実した支援が提供できるように努めていきます	とても感謝しています

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年3月31日

放課後等デイサービスセンター第2いちご園

利用児童数

令和7年3月1日

回収数 5

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5			事例を挙げた具体的な説明が分かり易かった様子観察をし、対応法的に助言頂いた視覚支援の方法等を助言頂き、有難かった	具体例や障がいの特性に配慮する支援を伝えていけるよう努めています
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4	1		迷った時に肯定的なアドバイスと後押しがあり、自信を持って対応できた 有効な手立てと一緒に考えて頂いた	更に知識や技術を身に付けていけるよう努めています
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	5			質問に対し、その場で回答を頂き参考になった 都度、カンファレンスで丁寧に説明して頂いた	園様の忙しい業務の中でカンファレンスの持ち方について検討が必要と感じた。今後ご意見を頂きながら方向性を考えていきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	2		自園以外と一緒に考える支援者がいる安心感が持てた 訪問が環境変化となり、通常の姿の共感が難しかった 出来、不出来の繰り返しを軽減する手立てを考えた	いちご園とは違う大きな集団と環境を念頭に置いて、訪問にあたります
5	事業所からの支援に満足していますか。	5			本児の注目行動が他児に影響を及ぼしていたが、利用時に他児の時間を確保することができた	いちご園としても今回の訪問を振り返り、反省点、改善点を改めていきます
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>・子どもの支援に繋がる丁寧なご指導ありがとうございます          ・今回はおうちの方からのご要望で行ったが、3者で話し合う機会を入れた方が共通理解になって良いと感じた          ・園といちご園での活動内容や行動の違い、過ごし方を知ることで、園での対応の参考になった          またいちご園の先生方の観察力、洞察力が素晴らしい、参考にし、学んでいきたい          ・保護者の意向を把握し、園の状況も理解した上で丁寧に繋いで頂いて大変有難く思っている          ・課題や困りごとが日々変化する中でその都度アドバイス頂けたことが良かった。定型発達の子どもたちに合わせたスケジュールで生活している保育園の様な大きな集団と小集団での生活の違いは大きいと感じた。</p>					<p>・快く訪問を受け入れてくださったことに感謝すると共により良い支援を訪問先の園様と考えていけるように今回のご意見を生かしていきたいと思えます。大きな集団と特性や環境に配慮された小集団の生活の違いを知った上で、今後の訪問支援にあたっていきます。いちご園の訪問員も日々学びながらスキルアップを図っていきます。</p>	

公表

事業所における自己評価結果 保育所等訪問

事業所名		放課後等デイサービスセンター第2いちご園		公表日		令和7年3月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	1			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2		訪問できる職員を増やす 訪問後の振り返り・検討・書類作成時間の確保	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	2		時間の確保が難しい	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1		時間の確保が難しい	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3				
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3				
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	2			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2	1			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3					
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	1				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	1		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3				
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	1	訪問先の職員体制からカンファレンスの時間の確保が難しいときは支援の中で聞き取り等を行う	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	2		更なる周知徹底が必要
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1		安全計画を詳しく知らなかった
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	2		対象児がない